

★なける【泣ける】

「思いっきり泣ける作品だ」

〈主観〉感動や感激の大きさを表すたとえ。実際に涙を流すかどうかはともかく、そのくらい心を動かされることを言う。

①バリエーション

★**熱い物が込み上げる**「二人の友情が試されるシーンでは、熱いものがこみ上げてきた」▼涙が出そうになる。

★**ぐつと来る**「パンダの親子が見つめ合うシーンにぐつときた」▼胸や息などが詰まるような

気持ち。

★**号泣**「ラストシーンには号泣した」▼声をあげずに泣く意で使うのは、本来は誤り。

★**じんと来る**「卒業生に贈る言葉にじんときた」

▼あることが強く胸に迫る様子。「じいんと来る」とも。

★**涙が止まらない**「子供たちからの手紙に涙が止まらない」

★**涙ぐましい**「涙ぐましい努力のたまもの」

★**涙なしには**「涙なしには見られないネロとパトラッシュの最期」▼涙がない状態で。「涙なしに」「涙なくして」とも。

★**滂沱**「滂沱とあふれる涙とともに読了した」▼最終回は滂沱の涙でした」▼とめどなく流れるさま。文語的な表現。

関連

★感動（P.56）

★**ほろりとする**「みんなの頑張りに、不覚にもほろりとさせられてしまった」

★**目頭が熱くなる**「様々な想い出が心をよぎり、思わず目頭が熱くなった」

★**涙腺が緩む**「主人公の諦めない姿を見て涙腺がゆるんだ」

★**涙腺崩壊**〔新〕「再会した二人が抱き合うラストシーンに涙腺崩壊した」▼「涙腺が緩む」を強調した言い方。

「泣ける」の絶賛マップ

